

# StylI

## I. 認識配列

5'.....C▼C[A/T] [A/T]G G.....3'  
 3'.....G G[T/A] [T/A]C▲C.....5'

## II. 保存

-20°C

## III. 活性定義

1 unit は、反応混合液 50 μl 中、1 μg の λDNA を 37°C、60 分間で完全に分解する酵素活性とする。

## IV. 起源

*Escherichia coli* (WA 921/pST 27hsd<sup>+</sup>)

## V. 形状

50 mM KCl  
 10 mM Tris-HCl (pH 7.5)  
 0.1 mM EDTA  
 1 mM DTT  
 0.2 mg/ml BSA  
 50% Glycerol

## VI. 酵素反応条件

・反応温度 : 37°C  
 ・バッファー : H

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 100 mM | NaCl              |
| 50 mM  | Tris-HCl (pH 7.9) |
| 10 mM  | MaCl <sub>2</sub> |
| 1 mM   | DTT               |

## VII. 添付品

・10 x H Buffer (赤色ラベル)  
 添付反応バッファーは、酵素反応条件の 10 倍濃度です。  
 制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

## VIII. 反応バッファー別相対活性

| Buffer   | L    | M    | H   | A  | B    |
|----------|------|------|-----|----|------|
| 相対活性 (%) | (10) | (75) | 100 | 25 | (75) |

## IX. 純度

本酵素 20 units と 1 μg の λDNA を 37°C で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

## X. 結合試験

本酵素で完全に切断された λDNA フラグメントの 95% が T4 DNA リガーゼで結合され、そのうち 100% が本酵素で再切断される。

## XI. 備考

制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポンジーンのホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。  
 医薬品の用途には使用しないでください。